

ダイヤモンド川柳平成二四年九月「旅」「栗」
西沢秀子

十津川で 泊まりし宿よ 無事であれ
地図を見て 旅の気分に ひたる夫（おとこ）
どんぐりを 蒸かしてくれと せがみし子

堀 輝規

いが落ちる 探してみても 栗は無し
栗ひろい 猿も苦勞の いがの中
旅のまえ 行く先々を 夢にみる

山本 昭子

栗ごはん 秋の味覚の 代名詞
栗拾い マナーはいがも 持ち帰り
介護にて 旅はテレビで 間に合わせ

森本とよみ

かの花が こんな実になる 栗不思議
地図たのし 行きてもたのし 同い年
旅ゆけば 諸事を忘れる ありがたさ

入江 彦治

栗飯へ おかわり進む 母の味
うたた寝の 孫の手より 栗こぼる
あの頃は 楽しかった 旅日記
箸紙へ 一句を添えて 旅土産